

記者懇談会の記録

日時	令和4年6月30日（木）15：30～15：52
場所	岩見沢市役所 3階 会議室 3-5
記者数	6人

1 岩見沢市 LINE 公式アカウントの開設について

（市長）

それでは、「岩見沢市 LINE 公式アカウントの開設」について、でございます。

市では、災害情報や、雪に関する情報、さまざまな市政情報などを的確にお伝えするために、新たに岩見沢市 LINE 公式アカウントを開設し、世代を問わず多くの方が利用されている LINE を通じての情報発信を、明日7月1日からスタートいたします。

この公式アカウントでは、「友だち登録」をしていただいた方全員に、岩見沢市が対象となる気象庁発表の警報や、市が発令する避難情報などの緊急情報を、迅速にプッシュ配信する予定です。

また、平時におきましては、市民の皆さまの生活に密着した市政情報や子ども・子育てに関する情報、新型コロナウイルス感染症に関するお知らせなど、基本的には市のホームページで「市からののお知らせ」として掲載するものを、公開に合わせてその都度配信することとしています。なお、これらの情報配信につきましては、市のアカウントを友だちに追加していただいた後に、まず初めに「受信設定」のメニューから、「お知らせ受信設定」で、配信を希望する情報のカテゴリ選択をお願いすることとなります。

そのほかには、LINE トーク画面の基本メニューには、市のホームページや、利用頻度の高いごみ出し検索のページへのリンクを配置するほか、市内で開催されるイベントを、日程やイベントジャンルから探すことのできる「イベント情報」や、転入・転出する際に必要な手続きなどを検索することのできる「手続きナビ」などを配置して、欲しい情報を手軽に探しやすくしたところ です。

市からの情報発信ツールについては、これまでも Twitter、Facebook、Instagram といった SNS や、岩見沢市メールサービス、地デジ広報などを運用しており、市民の皆さまには、ライフスタイルに応じてご利用いただいているところですが、今回、お使いいただけるツールが一つ増えることになろうかと思えます。市は、必要な情報を必要な方へ、迅速にお届けするよう努めてまいりますので、是非たくさんの方に友だち登録をしていただき、市からののお知らせを受け取っていただきたいと思えます。

登録方法などの詳細につきましては、別途チラシを作成し、各所に配布するほか、市のホームページや広報いわみざわ8月号などでお知らせする予定です。

<質疑応答>

(NHK)

そもそもの話なのですが、こういった自治体の LINE の公式アカウントというのは、他の自治体でもあるものなのか、割と先駆的な取り組みなのでしょうか。

(市長)

道内では、札幌市、千歳市ほか 10 市以上が運用しているようです。空知管内でこれまで運用しているのが、滝川市、砂川市、芦別市、そこに岩見沢市が加わるということになるかと思えます。

(NHK)

お知らせする情報ですが、緊急時、気象情報の警報ですとか避難情報は、受信登録をする、しないに関わらず発信して、そのほかの平時の情報については、選ばれたものだけを配信するという理解でよろしいでしょうか。

(市長)

そうですね。緊急を要するものとか、災害情報などはプッシュ型で全ての方にお送りしますし、市政情報の中で必要とするカテゴリを選んでいただいて登録いただくとその分野に関する情報が配信されるということになります。

(プレス空知)

これは、情報の発信機能だけで、トーク機能のような市民の方からのメッセージに答える機能はないということでしょうか。

(市長)

現段階では、トーク機能は使わないということで、プッシュ型の情報発信ツールということに特化した形で運用を開始したいと思います。

LINE のトーク機能を使っていろいろな情報を収集するといった活用の仕方もあると思いますので、それについては今後研究しながら取り入れていくことも検討したいと思っています。

2 2022 いわみざわ彩花まつりの開催について

(市長)

「2022 いわみざわ彩花まつり」について、でございます。

週明けの 7 月 4 日、月曜日から、あやめ公園、いわみざわ公園、駅前広場などを会場として開催することとなっています。

まずあやめ公園では、168 種 12,000 株のあやめや花菖蒲を鑑賞していただきますし、いわみざわ公園バラ園では、630 種 8,800 株のバラを鑑賞していただくこととしています。

現在のところ、あやめはピークを過ぎておりますが、バラはまもなく満開を迎え、花菖蒲とあわせて、ちょうど彩花まつりの期間に見頃を迎えることになると思います。

主な内容でございますが、期間中、JR 岩見沢駅前では、バラの花壇やメタセコイヤのライトア

ップを行うほか、市内のバラやあやめ、家庭で栽培している花などの写真を募集する、フラワーフォトコンテストを開催します。こちらについては結果発表を8月2日に予定しているとのことです。

また、あやめ公園では、毎年恒例となっております、あやめ株とあやめ団子を、期間限定で販売することといたします。

また、いわみざわ公園では、旧緑のセンターにおいて盆栽展が開催されるほか、色彩館におきましては箏曲の演奏が予定されています。

さらに、7月24日、日曜日には、北海道グリーンランド遊園地との共催事業として、午後8時より遊園地を会場に、5,500発を打ち上げる花火大会が開催されます。

17時以降は500円の入園料で入場ができます。また、駐車場代については別途500円が必要ということになります。

これまで、岩見沢の夏の夜の風物詩でありました、観光踊りパレードやお祭り広場の露店につきましては、「花の祭典」としての要素を重視した取り組みとするために、今年度は実施しない、コロナ禍も当然あるということですが、実施しないということになっています。

今年の彩花まつりが天候に恵まれて、多くの方々にご来場いただき、花の祭典としてお楽しみいただけるよう、期待しているところです。

<質疑応答>

(北海道新聞)

観光踊りパレードの見直しの部分ですが、コロナ禍というのが大きな要素で今回見送ったのかと思ったのですが、あり方も含めて現在見直しを検討していると捉えてよろしいでしょうか。

(市長)

そうですね、参加されている方々の意向調査などを含めて今いろいろと検討を進めているところです。今年度はコロナ禍ということもありまして中止しますが、来年度以降の取り組みについては、現時点では未定、協議しているということになろうかと思えます。

(NHK)

あやめの見ごろがもう過ぎたということですが、もう全然咲いていないのでしょうか。どのくらいの状況なのでしょう。

(市長)

そうですね。花菖蒲はこれから見ごろなのですが、あやめとは種類が違うので、ピークが過ぎたということで、まだ咲いているかとは思いますが。

3 北海道そらちグルメファンド 2022 の開催について

(市長)

今年で9回目を迎えることとなります「北海道そらちグルメファンド」でございます。

空知のロケーションと美味しいグルメを楽しむ北海道最大級のサイクリングイベントへと、時には「キング・オブ・グルメフォンド」という呼ばれ方もいたしますが、そのようなサイクリングイベントに成長してきたグルメフォンドです。

そもそもは平成 26 年、2014 年から始まりました本イベントですが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、一昨年は中止、昨年はフリーライド形式への変更開催ということで、本来の開催形式としては 3 年ぶりの開催となります。

なお、募集定員を通常の半分程度の 500 名とするほか、スタートを分散方式とする、あるいは「エイド」と呼ばれる各補給所でのグルメの提供を個包装とする、参加者同士はもとより参加者とスタッフとの接触を低減させるための工夫なども凝らしながら、感染対策に配慮しながらの開催となる予定です。

開催日は 8 月 21 日の日曜日、コースが、ロングコース、グラベルコース、ミドルコースの 3 コースを設定しています。発着会場は「いわみざわ公園野外音楽堂 キタオン」となります。

「グラベルコース」というコースがありますが、これは、ロングコースの随所に未舗装の道を走ることができるオプションのような形でのコースを設定しています。

例年、南空知地域の中で、北回りと南回りを交互に実施しており、今年は南回りとして、岩見沢市、南幌町、長沼町、由仁町、栗山町と周り、スタートの岩見沢市へ帰ってくるコースとなっています。

エントリー期間は、本日、6 月 30 日から 7 月 25 日までです。

また、昨年も実施したフリーライドを並行して開催します。フリーライドの方は、期間中であれば、走る日にちや時間、コースを気にすることなく、自由に南空知を巡っていただき、各チェックポイントに設置された QR コードをスマホで読み取ることでポイントを獲得し、抽選で南空知地域の特産物がもらえる企画となっています。

フリーライドについてはエントリーの必要はありませんので、スマホにアプリを入れて、自由にご参加いただきたいと思います。

< 質疑応答 >

(北海道新聞)

昨年はフリーライド形式で変更開催とのことですが、昨年は中止して別の取り組みとしてフリーライド、と聞いた記憶があるのですが、中止という認識ではなくて、変更開催という捉えの方がよろしいのでしょうか。

(市長)

グルメフォンド本来の形式を中止しているのは間違いありません。ただ、先ほど 9 回目と申し上げましたが、昨年は形式を変えて、グルメフォンド 2021 をフリーライド形式で開催したということで、昨年が第 8 回ということ。そして、今年が第 9 回。第 7 回の 2020 年については中止したということになります。

3 その他

< 質疑応答 >

(HBC)

書かない窓口を拡充するという話なのですが、これは今までやっていたものが好調だったから、いろいろと問題なく出来たので、広げるということになったのでしょうか。

(市長)

もともと、新庁舎のオープンに合わせて書かない窓口を導入して、そのときには証明書の発行業務でスタートしましたが、そもそも当初からこれを拡充していこうということで取り組んで来たところなんです。それで、4月の繁忙期以降、転入、転出など住民異動の届け出の関係を一部試行してまいりまして、順調に稼働できるということで、この度本格稼働すると。今後も、確か今回の転入、転出を含め各分野に拡充するというので、取り組みを進めていたと思います。順次準備ができ次第、サービスインをしていくということになるかと思います。

(HBC)

市民の方の反応や評判は聞いていらっしゃいますか。

(市長)

はい、ご自身で申請書を書かなくてよくなりましたし、職員の方で申請書を全て、RPA も使いながら作成をして、確認をしていただきました後は署名だけですので、待ち時間も短縮されましたし、非常に便利になったということで、好評にお使いいただいています。

(HBC)

では、実際に時間の短縮にもなっているという感じなのですね。

(市長)

そうですね。繁忙期も窓口の方は混乱なく稼働しておりました。

(注) この記録は、重複した言葉遣いや明らかな言い直しがあつたものなどを整理した上で作成しています。(作成：総務部秘書課広報係)